



臨床研究部  
からのお便り

# 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

第24回

アップデート

## —どうして日本中に緊急事態宣言が出ているのか—

新型コロナウイルス(SARS-Cov-2)は、瞬く間に世界中に蔓延し、本日(2020年4月24日)時点で、世界中で2,704,676例の患者(死亡190,549例)が報告され、日本では12,382例(死亡287例)となっています。日本では4月7日に、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県を対象として、4月7日から5月6日までの29日間、緊急事態宣言が行われました。また、4月16日において、上記7都府県と同程度にまん延が進んでいる道府県として北海道、茨城県、石川県、岐阜県、愛知県、京都府を緊急事態措置を実施すべき区域に加えて、これらを特定警戒都道府県とし、それ以外の県を含む全都道府県を緊急事態措置の対象としました。これらの区域において緊急事態措置を実施すべき期間は、4月16日から5月6日までとなっています。

一方では三重県では、これまでに42例が報告されており、人口100万当たりで計算すると23.6人となります。ただし、ほとんどの感染者はその感染伝播経路がわかっており、見つかった患者の濃厚接触者も特定されており、そこからの感染の拡大は抑えられています。これも三重県新型コロナウイルス感染症対策本部と保健所のみなさまのご努力、不幸にも感染された方と濃厚接触者の方々の献身的なご協力によるものと、みんなで感謝しないといけませんね。

しかしながら、このような状況にある三重県にも非常事態宣言が出されており、外出を控える、三つの密を避ける、そして一定の業種の営業自粛、移動の自粛などが期待されています。なぜだろうと思われる方もみえるかもしれませんが、COVID-19と言う疾患は、感染者の約20%が肺炎を起こします。そのうちの5%は極めて重篤な状況になり得ます。一方では、多くは軽症であるものの、急激に悪化することもあり、若くて基礎疾患の無い人における重症化も報告されていますので、決して軽視できるものではないということをご存じだろうと思います。

一方、もう一つ問題なのが、本人も自覚の無いほどに軽症の方や全く症状の無い無症候性感染例もかなり存在し、このような方たちも人に感染させることがあるということです。図に示しますように、当初はどこか外部から感染が入ってきます。外から入ってきた感染者がすべて病院に行かねばならないような症状があれば、こういう方はきちんと診断されて、濃厚接触者が調査されて、そこから感染が広がるのを防止するこ

とが出来ます。一方、ほとんど症状がない人の場合には、本人を含めて誰にも気づかれませんので、診断されませんし、そこから感染した人も、症状が出ない限り誰にもわかりません。このようにして知らないうちに感染が広がっていることがあります(これを防止するために流行地域から戻られた人は14日間自宅待機してくださいと言われるわけです)。このような見えない感染伝播ルートが存在することが、この感染症の特徴なのです。そして、たまたま症状があって、病院にかかって検査を受けるとCOVID-19と診断されるわけですが、この方の前の方が症状がなければ、誰から感染したかはわからないこととなります。これが、現在、首都圏など大都市で見られている、感染源の不明な症例です。このような見えない感染ルートが多数存在してくれば、いろんなところに感染の芽ができて、いつかは、それらが同時に火を噴きます。これがいわゆる感染爆発です。

現在日本全体に移動自粛が要望されていますが、もちろん、完全ではありませんので、この図に示すような、見えない感染者がいるかもしれませんし、見えない感染経路があるのかも、だれにもわかりません。ひょっとしたら、あなた自身もすでにどこかで感染して、無症状なのかしれません。そして、知らない間に誰かに感染させているのかも知れません。もちろん、三重県はこれまで1,578件のPCR検査を行い、そのうち陽性検体は43件で、陽性率は2.7%です。かなりたくさんの検査が行われておりますが、患者数はまだ多くは無く、見えない感染経路がたくさんあるとは思えませんが、こればかりは誰にもわかりません。しか

### 見えない感染伝播網

